

みなさん、こんにちは。高槻東地域では、令和5年度の新名神高速道路の全面開通に向けて、関連整備が進められており、目に映る景色も日々変化しています。

また、檜尾川以東の鉄道沿線においては、高槻市とJR西日本が、新駅設置と新たな市街地形成について検討を開始し、令和元年度の農地所有者や周辺住民へのアンケート調査では、約7割の方が新駅設置等に期待すると回答され、地域の将来について考える良い機会になりました。

さて、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を大いに受けた1年でしたが、そのような状況でも、感染防止対策を行いながら、まちづくりの必要性をテーマとした勉強会と資料の配布・回覧を行いました。今号では、これら勉強会の開催状況と、本年3月に改定された高槻市の目指すべき都市像や都市づくりの方向性を示す「高槻市都市計画マスタープラン」への本地域の新たな位置づけなどについて、お知らせします。

1 地域住民による「まちづくり勉強会」が行われました

高槻市と大阪府下で多くのまちづくり活動に携わる（公財）大阪府都市整備推進センターから講師を迎え、地域の意向に応じた勉強会を開催しました。

〈開催日程等〉

日 程	対象自治会	内 容
令和2年 9月20日	梶原自治会	取組状況について・今後のスケジュール
10月18日	梶原自治会	まちづくりの進め方～まちづくり協議会とは～
11月22日	梶原5・6丁目自治会	計画的なまちづくりの必要性
12月13日	梶原自治会	まちづくりの事業手法（開発許可と区画整理）
令和3年 2月21日	梶原自治会	まちづくりの事業手法（土地区画整理事業）



梶原自治会



梶原5・6丁目自治会

〈勉強会での主な意見〉

交通アクセスが不便なので駅ができることはありがたい。

今後、他地域との連携が必要になる。合同勉強会の開催などを検討したい。

待っていれば、市とJRが駅を造ってくれると思っていた。地域主体のまちづくりが必要であることがわかった。



駅の設置や市街化区域編入による税金への影響が心配である。

2 萩之庄・梶原新都市拠点に位置づけられました

新名神高速道路や関連道路等により交通利便性が向上していることや地域のアンケート調査、勉強会等の状況を踏まえ、高槻市は、都市計画マスタープランに本地域を「萩之庄・梶原新都市拠点」として位置づけ、また、大阪府は、都市計画区域マスタープランに将来的に市街化区域に編入する候補地として「保留区域」に設定しました。

なお、これらは現時点で皆さんが所有されている土地・建物に何ら影響を与えるものではなく、将来的に地域が望むまちづくりが実現できるよう方針を定められたものです。

➤ 高槻市都市計画マスタープラン（令和3年3月改定）

都市整備の方針（萩之庄・梶原新拠点）

新駅設置や幹線道路の整備など、交通環境の変化を適切に捉えた計画的な都市づくりについて検討します。



※本マスタープランは高槻市のホームページで閲覧可能です。

3 今後もみなさんのご意見を伺いながら進めていきます

JR西日本は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響への対応に注力している状況ですが、経営環境回復後の新駅設置実現に向けて、高槻市とともに引き続き検討を進めるとされています。

今後も、高槻市の支援を受け、より多くの方と勉強会を継続し、安全で住みやすく、次世代にレールを敷くまちづくりの検討に取り組みます。皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。



発行：梶原自治会、梶原5・6丁目自治会
事務局：高槻市 都市創造部 都市づくり推進課
(TEL)072-674-7551 (FAX)072-674-7008
(高槻市 HP)<http://www.city.takatsuki.osaka.jp/>

新駅検討事業はこちら➤

